

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 88 号
2018 (平成30) 年7月21日 (土)

『我が道を行く』

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

『論語』の中に「人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うるなり」という章句があります。他人が何を言おうと、どう評価しよう、大した問題ではない。それよりも、「人を観る目を自分はしっかり持っているのだろうか」と自問自答し続けることの方が人生にとっていかに大事なことか。

私はこのように受け止めています。

人は時に、ひとり蚊帳の外に置かれた寂しさに「何故、自分には教えてくれなかったのか」と不満の言葉が出たり、周囲に自分がどう映っているのかが気になって、他人のささやきまでもが自分への批判のようになってしまう。

様々な人と共に日常生活を送る中で、お互いふとしたことで疎外感や不信感に襲われることがある。

一方的な思い込みかも知れないのに、そこにはまり込んでしまうと疑いが疑いを呼ぶという悪循環に陥ってしまう。

しかし、他人のことなど気にすることは無い。自分は自分、掛け替えのない自分である。周囲を顧みない自分勝手な振る舞いは、もちろん許されないが、人に迷惑を掛けたり、間違ったことはしていないという確信があれば、どう思われようと、誰が何と言おうとかまわない。我が道を堂々と行けばよいのだ。

そうした思いに立ってこそ、いたずらに周囲に気を取られることのない、自分らしい生き方が可能になるといえよう。孔子が謂わんとしている“Going my way”を真に貫き通したいものである。

さて、塾生のみんなは、いよいよ待望の夏休みに入りますね。無理のないゆとりを持った計画を立て、有意義な休みを送ってほしいと思います。「日に日に新たに亦楽しからずや」の本を一日一章、素読を5回行って下さい。休み明け、『論語』に対する考え方が少し変わるかも知れませんよ。

塾生紹介

氏名 道端 敬子さん 趣味 スキー・料理 座右の銘 禅の言葉「日々是好日」

〈本人の感想〉

私はこの3月まで幼稚園の園長をしておりました。70才を機に息子に引継いでもらう事にしました。1年中忙しく過ごしておりましたので、今はのんびりとした一日を楽しんでおります。

禅の言葉の「日々是好日」が大好きです。今まで忙しいからこそ一日を大切に生きて来ましたが、これからは、ゆっくり過ごすなかにも一日一日を大切に生きてゆきたいと思っています。

憧れの習い事が出来るようになり、一番に選んだ新田先生の論語教室とても楽しみに毎回待っています。どうぞよろしくお願い致します。

〈先生からのコメント〉

道端敬子先生は、社会福祉法人 札幌からまつの会理事長をされています。厳しさの中にも温かみのあつる人柄は、周りの多くの人に慕われており、一方で困難に出合っても信念を貫き通す勇気を幾度も目にしています。